研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 4 年 6 月 2 7 日現在

機関番号: 34444

研究種目: 基盤研究(C)(一般)

研究期間: 2017~2021

課題番号: 17K01040

研究課題名(和文)看護リテラシー教育としての看護過程を活性化するIBL教育プログラム開発

研究課題名(英文)Development of Inquiry Based Learning Approaches to Activate the Nursing Process as Nursing Literacy Education

研究代表者

青山 美智代(Aoyama, Michiyo)

四條畷学園大学・看護学部・教授

研究者番号:80264828

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3.500,000円

研究成果の概要(和文): 大学教育における看護過程の教育内容を把握するために、看護の思考の中心としてのアセスメントを主に教える全国の看護系大学の看護過程のシラバスを分析し、探求型学習であるIBLによる看護アセスメント教育における思考論証能力の多面的評価を行った。 看護過程が基盤とする米国看護学の文化的コンテクストの把握のため、キリスト教社会における看護職の成立

を辿った。米国看護学由来の用語の活用実態について、臨床看護師にインタビュー調査を行い、活用における問題点を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義 看護過程は思考論証が中心的学習内容であるはずだが、看護系大学における看護過程はシラバス分析から見る と論証的思考力に焦点があるとは言えないという課題が見つかった。 看護過程が生まれた米国看護学が前提とする文化的、歴史的、社会的背景の理解により、日本人が明示的には 意識しないが実は看護に大きく影響している道徳性(宗教性)と女性の生き方という面を改めて認識すること で、歴史的、社会的存在としての看護職をより重層的に理解でき、将来への展望も与えうる。米国看護学由来の 用語を日本の臨床看護師がどう活用しているかの実態調査により、言語化と共有、確認という面での日本人看護 師の抱える問題点が明らかになった。

研究成果の概要(英文): We analyzed the syllabi of nursing processes in 4-year nursing colleges across Japan that primarily teach assessment as the core of nursing thinking to understand the content of nursing processes in college education, and conducted a multidimensional evaluation of thinking-argumentation skills in nursing assessment education using IBL, an inquiry-based learning approach.

To understand the cultural context of American nursing science, on which the nursing process is based, we traced the formation of professional nurses in a Christian society and conducted interviews with clinical nurses regarding the actual utilization of the terminology derived from American nursing science to identify problems in its utilization.

研究分野:看護学

キーワード: 看護過程 IBL学習法 論証的思考 米国看護学用語 看護の職業化

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

(1)看護リテラシー教育の動向と課題

2011 年の文科省の大学看護教育の検討会では、創造的思考力育成と学士力と看護実践能力の統合が必要とされたように、看護問題の複雑化、入院期間の短縮化、電子カルテの普及などの看護サービス提供環境の変化により、看護基礎教育分野では課題発見に必要な看護リテラシー(論証的思考力・判断力)の育成の必要性が認識されている。文科省により「学士課程版看護実践能力と到達目標」は示されたが、看護師教育として何を課題とし、その解決に取り組むかは、各大学の主体的な設定能力と問題解決力にかかっている。

(2)「看護過程」科目の動向と課題

現在の大学看護教育で、問題発見、解決に向けた思考力、判断力、すなわち看護リテラシーの 習得を主として担っているのは「看護過程」科目である。しかしながら、現状では、看護過程に は標準的な教科書や共有された教育プログラムもなく、またアセスメント(情報収集、分析)の 「枠組み」にデータを無理やり当てはめる作業に終始しているという批判も聞かれるが、実態は 十分に把握されてはいない。

その理由として、「看護過程」教育がアメリカ看護理論の導入によって始まり、アメリカ由来のカタカナ用語、概念を教員自身不消化のまま使用して学生にアセスメントを教えるため、十分な理解を教員学生双方が持たないまま、ともかく「枠組み」を使用してアセスメントシートを埋める機械的作業が看護過程の授業内容となることが常態化している。しかし、問題発見、仮説生成、情報収集という看護リテラシーの能力のうちで、アセスメントシートを埋めることは、患者情報から推察した仮説を補強するエビデンスを列挙することに過ぎないので、看護過程の一部に過ぎないアセスメントシート作成が、学生の主体的、論理的な思考、判断力を育成するわけではない。

(3)用語の理解と看護の歴史的背景

アメリカ由来の看護用語や概念の理解や活用については、十分な検討がなく、実態は明らかではない。さらにその背景として、日本の看護教員がアメリカ看護学を先進的なものとして導入に努めてきたものの、アメリカの社会、文化の知識を持たず、用語、概念の本質的な理解を得る機会がないまま、教育にアメリカ由来の用語に対して確信を持てずに使っていることが、用語の問題を引き起こしている可能性がある。アメリカ看護の文化的、歴史的背景を理解することで、アメリカ看護の考え方、視点をよりよく理解できるようになると考えられるので、日本の看護に合わせてそれらをどう変容させ、活用していけるかを考えるうえでは、アメリカ看護の文化的、歴史的背景の理解は看護教育には必要であると思われるが、国家試験でも扱われず、現状ではそのような内容の教育は一般的には行われているとは言えない。

2. 研究の目的

(1) 看護リテラシー教育の動向と課題

看護アセスメント教育における Inquiry Based Learning の学習効果

IBLによる学生のアセスメントの生データから思考プロセスを明らかにし、IBLによる看護アセスメント学習の効果を明らかにすることを目的とする。

IBL による論証的思考能力の多面的評価

ジェネリック・スキルと自己教育力の評価尺度を用いて、IBL による能力獲得効果の検討を目的とする。

看護教育における知識の構築 - IBL の基盤となる考え方

学習者中心教育である IBL 教育がなぜ看護教育に必要なのかを考察する。

(2)「看護過程」科目の動向と課題

看護過程のシラバス分析 - その1

WEB 公開された大学シラバスから、看護過程の展開に関する科目の科目名・単位数・時間数・配当学年のデータを収集し、全体的な傾向を知ることを目的とする。

看護過程のシラバス分析 - その2

その1の結果を踏まえ、大学シラバスの看護過程授業内容からキーワード抽出し、科目の位置付け、その共通性を把握することを目的とする。

(3)用語の理解と看護の歴史的背景

文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 医療人類学の視点からアジア系看護師のアサーティプネスを文化的観点から考察する。

キリスト教社会における看護の職業化プロセス

フランス、英国を中心とした国内外の関連文献から、中世から近代の人の世話に関する修道女 の活動の歴史と病院の始まりから看護職の誕生までの経過の記述を目的とする。

アメリカ看護理論周辺用語のわかりにくさの解明(1)

アメリカ看護理論周辺用語のわかりにくさの背景の検討を行い、その実態のインタビュー調査のための用語リストの作成を目的とする。

アメリカ看護理論周辺用語のわかりにくさの解明(2)

アメリカ看護理論周辺用語のわかりにくさの実態のインタビュー調査を目的とする。

3.研究の方法

(1)看護リテラシー教育の動向と課題

看護アセスメント教育における Inquiry Based Learning の学習効果

IBLによる演習を受講した2年次学生で同意が得られた7名を対象とし、気管支拡張症と呼吸器感染症で入院している48歳の患者の訴えを中心とした18センテンスの情報からなる事例を3つに分けて提示し、(A)事例に含まれる情報のうち学生が着眼する事実(B)学生が構築する仮説(C)足りない情報(D)調べる項目、に分けて学生の記述内容の関連性を見た。

IBL による論証的思考能力の多面的評価

同意が得られた4年次学生4名を対象とし、IBLによって獲得する力を、社会人基礎力 PROG (Progress Report on Generic Skills)および自己学習力志向性 SDLRS(Self-Directed Learning Readiness Scale)によって測定した。 調査は IBL の開始前後で2回測定した。

看護教育における知識の構築 - IBL の基盤となる考え方

教師中心型教育と情報の稀少性の関係、教師中心型教育の看護教育への影響、探求型教育法、知の絶え間ない改造、知識の生成と構築主義、Deweyの問題的状況と駆動質問などの視点から、IBL教育の必要性を考察した。

(2)「看護過程」科目の動向と課題

看護過程のシラバス分析 その1

2018年日本看護系大学協議会の会員校277大学のWEB公開シラバスから看護過程の展開に関する授業科目 大学名 科目名 配当学年 単位数をデータとして分析した。科目名称の分析は、Word Minerを用いた。

看護過程のシラバス分析 その2

シラバス内の「概要」「目的」「目標」「テーマ」「ねらい」の記述内容をデータとし、Word Minerを用いて分析した。

(3)用語の理解と看護の歴史的背景

文化を越えた環境におけるアサーティブネス

Ga1antiの異文化看護論(2014)のアジア系看護師のアサーティプネスに対する困難さの事例と北山の文化的自己観から、アジア固有のアサーティブネスの問題点を考察した。

キリスト教社会における看護の職業化プロセス

フランス、英国の中世~近代の人の世話に関する修道院の活動、医療、病院、女性の職業と看護の職業化に関する国内外の関連文献から知見を記述した。

アメリカ看護理論周辺用語のわかりにくさの解明(1)

アメリカ看護理論周辺用語のわかりにくさの背景の検討のために、看護理論用語導入の背景、日本の看護の文化的差異への気づき、翻訳された看護診断ラベルの持つ問題などを文献から検討し、とりあげるべき用語、概念などをテキストから抽出した。

アメリカ看護理論周辺用語のわかりにくさの解明(2)

機縁法で募集した臨床看護師 4 名に対して、インタビューガイドとして抽出したアメリカ看護周辺用語、概念から作成した 29 項目リストをもとに自由回答の個別インタビューを行った。

4. 研究成果

(1)看護リテラシー教育としての IBL

従来の教師中心型教育は情報が稀少であった時代の教育モデルであり、情報過剰な現代では 学習者が自ら情報を選択して、知を構築する教育モデルがふさわしいことを考察し、臨床判断が 求められる看護師教育には自ら仮説を立てる探求型すなわち IBL が必要であるという結論に至 った(研究)。思考の迅速性、正確性、柔軟性を育てる Inquiry Based Learning (IBL)の「看 護過程」学習における有効性を検討し(研究①)、IBL の看護アセスメントにおける効果、およ び IBL による思考・論証能力の多面的評価で、IBL を実施した後、論証的思考力が向上したこと が示唆された(研究)。

(2)「看護過程」科目の動向と課題

看護過程には標準的な教科書がなく、看護過程が米国から我が国に導入されて 30 年以上経過するので授業計画の共通性を予測したが、ばらばらであった(研究①)授業の目的、目標、テーマ、ねらいなどの項目ごとの記述内容をテキストマイニングによる分析を実施した結果、構成要素は類義語や言いかえが多く、出現数が多いのは、「看護」「過程」「患者・対象者・クライアント・対象」「基本・基礎・基本的・基礎的」「問題・課題・問題点」「展開」「事例・紙上・模擬・ペーパーペーシェント・紙面」「実践」「理解」「思考」「必要性・必要」「解決」「人・人々・人間・個人」「健康」「プロセス」であった。共通していたのは、専門職に必要な技術、科学的・系統的・具体的な思考の重視という位置づけ、事例を使う学習方法であったが、一方、科学的思考の具体的な意味は記述されていなかった(研究)。

(3) 用語の理解と看護の歴史的背景

アジアの看護師にはアメリカの看護師とは違った傾向があるのではないか、という視点から、 医療人類学者による異文化看護の事例集を検討し、文化的自己観の違いが関与している可能性 があることが示唆された(研究①)。看護理論用語導入の背景、日本の看護の文化的差異への気 づき、翻訳された看護診断ラベルの持つ問題などを文献から検討し、看護教育教科書で扱われる 看護理論周辺用語をから、文化的歴史的コンテクストが深く関わると考えられる 29 項目に絞っ て「わかりにくい、使いにくい看護用語、概念」リストを作成した(研究)。前述のリストを 用いて、臨床看護師に看護理論の理解と使用の実態に関するインタビューを実施し、テキストマ イニングで分析した結果、「マッチしない言葉と中身]を中心として、「あてはめがちな看護理論 用語の実態と乖離][セルフケア概念の活用実態][クリティークの圧迫][対応が優先][根拠と か知識…] [記録・意見交換不足による患者の苦しみ] [掘り下げる思考がなく行き詰る] [ソー シャルサポート・スピリチュアルケアの活用 1というカテゴリーが抽出され、言葉と中身の乖離、 理論と実践の乖離、言語化の不足という状況が示された。乖離や不足を埋めるための質問や議論 の不足があり、質問・議論・検討に必要な、書面・口頭両方の言語化に対する抵抗や不慣れもある ことが窺え、質問を批判とみなす日本文化固有の傾向が関与していると思われ、結果として議論、 思考を深めることが阻害されている。そのため、上司、指導者が下位者の心理的抵抗を解消し、 議論に慣れるような環境を整える必要性が示唆された(研究)

米国看護理論の生成に影響した医療事情、女性の社会化に関して、修道院と看護のかかわり、愛徳姉妹会などのフランスの看護修道女の活動、病院が修道院から分離独立していく歴史的経過、フランス第三共和政治における看護の世俗化と職業化のプロセスなどについて、文献検討を行った結果、修道女や看護婦の選択の背景には、女性に結婚以外の生き方を開く意味が大きく、同時に、修道女と看護の世俗化は複雑な関係があったことを確認した。修道院外では、慈善活動の実践者として低い階級出身者の「姉妹」が養成され、広く独身女性に名誉ある人生の選択を提供した。英国では、近代医学の進歩、教育病院での修道女による実務訓練と道徳教育により、世話は宗教的道徳性を残しつつ、労働者階級的な雑役業務から分離され、より医学的、専門的な内容となり、独身中流階級女性の名誉ある生計維持手段として看護の職業化が進んだ。独身女性の職業としての看護職と、世話を神への奉仕とみなしたことに由来する宗教性、道徳性は、余り指摘されない米国看護理論の文化的背景として認識すべきである(研究)。

< 引用文献 >

文部科学省:大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会最終報告,2011 文部科学省:学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標,2011

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計10件(うち査読付論文 9件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 10件)

【雑誌論文】 計10件(つら宜読刊論文 9件/つら国際共者 0件/つらオープンアクセス 10件)	
1.著者名 素山美知供,既共体之	4.巻
青山美智代,勝井伸子	5
2.論文標題	5.発行年
修道女の歴史と看護の職業化	2022年
	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
四條畷学園大学看護ジャーナル	1-8
	. 0

掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.15110/00000852	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
青山美智代,勝井伸子,西薗貞子	11
2.論文標題	5.発行年
- 看護過程の授業はどう展開されているか(2) 看護大学シラバス分析	2021年
日成紀15~18末1600万成月1010101010(2) 日成八十ノノハヘガ州	20217
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
梅花女子大学看護学部紀要	1-10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
 オープンアクセス	国際共著
ォーノンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
. , , , , c, c c c v . w (& / c v) / c v o v	l
1 . 著者名	4 . 巻
勝井伸子,西薗貞子	17
2.論文標題	5.発行年
······	
看護教育における知識の構築-IBLの基盤となる考え方-	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
奈良県立医科大学看護研究ジャーナル	38-46
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
物製舗 文のDOT (デンタルオフシェクト試別士) なし	ー 自硫の有無 - 有
'& U	Ħ
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている (また、その予定である)	-
1 . 著者名	4.巻
- · 自自日 - 西薗貞子,勝井伸子	4·물 17
HENY 1 I WILL 1	
2 . 論文標題	5 . 発行年
看護教育の高等教育化への歩みとアクティブラーニングの要請	2021年
つ か#÷+ 々	6 見知し見後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
奈良県立医科大学看護研究ジャーナル	47-56
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	- -
(-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11	

1. 著名名		1 . "
2 . 論文標題 アメリカ看護理論周辺用語のわかりにくきの解明(1) 5 . 飛行年 2019年 3 . 雑誌名 奈良県立医科大学看護学科紀要 6 . 最初と最後の頁 54-61 掲載読文の001(デシタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - 1 . 著者名 青山美智代、勝井仲子,西園貞子 4 . 巻 15 2 . 論文標題 看護過程の授業はどう展開されているか(1) 5 . 飛行年 2019年 3 . 雑誌名 示し乗り入学看護学科起要 6 . 最初と最後の頁 62-69 横載論文の001(デジタルオブジェクト機別子)なよ オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - 1 . 著者名 Telko Nishizono 4 . 巻 - 2 . 論文標題 INTED2018 Proceedings 4 . 巻 - 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 6576-6681 相親論論文の001(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - 1 . 著者名 B財件子、青山美智代 1 . 4 . 巻 - 1 . 著者名 B財件子、青山美智代 2 . 論文標題 スオープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 巻 - 1 . 著者名 B財件子、青山美智代 5 . 発行年 2018年 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 5 . 発行年 2018年		4 . 巻
アメリカ看護理論周辺用語のわかりにくさの解明(1) 2019年 3. 放該名 奈良県立医科大学看護学科紀要 6 . 最初と最後の頁 54-61 搭載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 国際共著 有 1 . 著者名 青山美智代、勝井仲子,西園貞子 4 . 巻 15 2 . 論文推題 看護過程の授業はどう展開されているか(1) 5 . 発行年 2019年 3 . 做該名 奈良県立医科大学看護学科紀要 6 . 最初と最後の頁 62-69 オープンアクセス オープンアクセス 国際共著 6 . 最初の有無 有 1 . 著者名 Telko Nishizono 4 . 巻 - 2 2 . 論文機題 1 NHEED2018 Proceedings 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 6576-6631 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 5 . 発行年 2018年 7 . 第2018年 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 2 . 論文機題 5 . 所行年 2018年 1 . 著者名 8 . 第井仲子, 青山美智代 2 . 論文機題 2 . 論文機題 2 . 論文機題 2 . 論文機題 3 . 雑誌名 4 . 巻 14 2 . 論文機題 5 . 発行年 2018年 5 . 発行年 2018年	勝井伸子,青山美智代	15
アメリカ看護理論周辺用語のわかりにくさの解明(1) 2019年 3. N誌5名 6. 無初と最後の頁 茶食県立医科大学看護学科記要 54-61 搭載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 国際共著 1. 著名名 - 青山美智代、勝井伸子、西園貞子 4. 巻 2. 論文課題 5. 銀行年 看護過程の授業はどう展開されているか(1) 5. 銀行年 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 奈良県立医科大学看護学科記要 6. 最初と最後の頁 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なよ 室読の有無 オープンアクセス 1. 著名名 Telko Nishizono 1. 著名名 Telko Nishizono 5. 発行年 2. 論交報題 6. 最初と最後の頁 MINIEDZOI Proceedings 6. 最初と最後の頁 場所経期間 6. 最初と最後の頁 オープンアクセス 国際共著 1. 著名名 場所発音 オープンアクセス 国際共著 1. 著名名 場所発音 オープンアクセス 国際共著 1. 著名名 場所発音 おープンアクセス 国際共著 1. 著名名 場所発音 3. 純誌名 6. 最初と最後の頁	2 論立種類	5 発行任
3 . 触誌名	·····	
### 新設立の101(デジタルオブジェクト識別子)	アメリカ看護理論尚辺用語のわかりにくさの解明(1)	2019年
示している。	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
規載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 青山美智代、勝井伸子、西側貞子 2 . 論文標題 看護過程の授業はどう展開されているか(1) 3 . 雑誌名 奈良県立医科大学看護学科紀要	** *** * *	
### また	小 区 示 工 应 们 八 于 自 吸 于 们 元 近 女	34-01
### また	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 杏誌の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 青山美智代,勝井伸子,西蘭貞子 2 . 論文標題 看護過程の授業はどう展開されているか(1) 3 . 雑誌名 水ープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Telko Nishizono 2 . 論文標題 CHARACTERISTICS OF NURSING PRACTICAL FUNDAMENTAL CAPABILITIES (LITERACY AND COMPETENCY) BY FUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 3 . 雑誌名 INTEC2018 Proceedings 4 . 巻 フープンアクセス コープンアクセス 国際共著 2018年 3 . 雑誌名 日 .		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 4.巻 1. 著者名 青山美智代,勝井伸子,西園貞子 5. 発行年 2019年 3. 雑誌名 奈良県立医科大学看護学科紀要 6.最初と最後の頁 62-69 掲載論文の201 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Teiko Nishizono 2. 論文標題 CHARACTERISTICS OF NURSING PRACTICAL FUNDAMENTAL CAPABILITIES (LITERACY AND COMPETENCY) BY FUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 5. 発行年 2018年 3. 雑誌名 INTED2018 Proceedings 6. 最初と最後の頁 6576-6581 掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 BB井仲子,青山美智代 4. 巻 14 2. 論文標題 文化を超えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 5. 発行年 2018年 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁		F
1 著者名 青山美智代、勝井仲子、西薗貞子 2 ・論文標題 看護過程の授業はどう展開されているか(1) 3 ・雑誌名 奈良県立医科大学看護学科紀要 6 ・最初と最後の頁 62-69 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 ・著者名 Teiko Nishizono 2 ・論文標題 CHARACTERISTICS OF NURSING PRACTICAL FUNDAMENTAL CAPABILITIES (LITERACY AND COMPETENCY) BY FUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 3 ・雑誌名 1 N書音名 INTED2018 Proceedings 4 ・巻 1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	オープンアクセス	国際共著
青山美智代、勝井伸子、西蘭貞子 15 2 . 論文標題 看護過程の授業はどう展開されているか(1) 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 奈良県立医科大学看護学科紀要 6 . 量初と最後の頁 62-69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オーブンアクセス 画際共著 1 . 著者名 Telko Nishizono 4 . 巻 ・ 2 . 論な標題 FLNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 INTED2018 Proceedings 6 . 最初と最後の頁 6576-6581 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 無 オープンアクセス 車読の有無 無 オープンアクセス 車読の有無 無 1 . 著者名 BH井伸子、青山美智代 4 . 巻 14 2 . 論文標題 文化を超えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
青山美智代、勝井伸子、西蘭貞子 15 2 . 論文標題 看護過程の授業はどう展開されているか(1) 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 奈良県立医科大学看護学科紀要 6 . 量初と最後の頁 62-69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オーブンアクセス 画際共著 1 . 著者名 Telko Nishizono 4 . 巻 ・ 2 . 論な標題 FLNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 INTED2018 Proceedings 6 . 最初と最後の頁 6576-6581 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 無 オープンアクセス 車読の有無 無 オープンアクセス 車読の有無 無 1 . 著者名 BH井伸子、青山美智代 4 . 巻 14 2 . 論文標題 文化を超えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	1 菜2夕	1 X
2 . 論文標題 看護過程の授業はどう展開されているか(1) 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 奈良県立医科大学看護学科紀要 6 . 最初と最後の頁 62-69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オーブンアクセス 1 . 著者名 Teiko Nishizono 4 . 巻 - 2 . 論文標題 CHARACTERISTICS OF NURSING PRACTICAL FUNDAMENTAL CAPABILITIES (LITERACY AND COMPETENCY) BY PUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 INTED2018 Proceedings 6 . 最初と最後の頁 6576-6581 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセス 1 . 著者名 B財井仲子,青山美智代 4 . 巻 14 2 . 論文標題 文化を超えた環境におけるアサーティブネス: 文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁		
 看護過程の授業はどう展開されているか(1) 3 . 雑誌名 奈良県立医科大学看護学科紀要 信 . 最初と最後の頁 62-69 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 1 . 著者名 Teiko Nishizono 2 . 論文標題 CHARACTERISTICS OF NURSING PRACTICAL FUNDAMENTAL CAPABILITIES (LITERACY AND COMPETENCY) BY FUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 3 . 雑誌名 INTED2018 Proceedings 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 査読の有無 無 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 イープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 B労井仲子, 青山美智代 2 . 論文標題 文化を起えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 	育 山美省代,膀开 忡 于,四園貝于	15
 看護過程の授業はどう展開されているか(1) 3 . 雑誌名	2 . 論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 奈良県立医科大学看護学科紀要		
奈良県立医科大学看護学科紀要 62-69 掲載論文のD01(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無有 オーブンアクセス 国際共著 1.著者名 Teiko Nishizono 4.巻		·
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	** *** * *	
### また	奈良県立医科大学看護学科紀要	62-69
なし 有 オープンアクセス 国際共著 - コープンアクセスとしている(また、その予定である) - コープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1・著者名 Teiko Nishizono 4・巻 - 2・論文標題 CHARACTERISTICS OF NURSING PRACTICAL FUNDAMENTAL CAPABILITIES (LITERACY AND COMPETENCY) BY FUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 3・雑誌名 INTED2018 Proceedings 6・最初と最後の頁 6576-6581		
なし 有 オープンアクセス 国際共著 - コープンアクセスとしている(また、その予定である) - コープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1・著者名 Teiko Nishizono 4・巻 - 2・論文標題 CHARACTERISTICS OF NURSING PRACTICAL FUNDAMENTAL CAPABILITIES (LITERACY AND COMPETENCY) BY FUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 3・雑誌名 INTED2018 Proceedings 6・最初と最後の頁 6576-6581	掲載論文のDOL(デジタルオブジェクト識別子)	
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 Teiko Nishizono 4.巻 2.論文標題 CHARACTERISTICS OF NURSING PRACTICAL FUNDAMENTAL CAPABILITIES (LITERACY AND COMPETENCY) BY FUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 5.発行年		H
1 . 著者名 Teiko Nishizono 4 . 巻 Teiko Nishizono 2 . 論文標題 CHARACTERISTICS OF NURSING PRACTICAL FUNDAMENTAL CAPABILITIES (LITERACY AND COMPETENCY) BY FUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 5 . 発行年 2018年 2018年 3 . 雑誌名 INTED2018 Proceedings 6 . 最初と最後の頁 6576-6581 掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス	オープンアクセス	国際共著
Teiko Nishizono 2 . 論文標題 CHARACTERISTICS OF NURSING PRACTICAL FUNDAMENTAL CAPABILITIES (LITERACY AND COMPETENCY) BY FUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 3 . 雑誌名 INTED2018 Proceedings 6 . 最初と最後の頁 6576-6581 超載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 勝井伸子,青山美智代 2 . 論文標題 文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
Teiko Nishizono 2 . 論文標題 CHARACTERISTICS OF NURSING PRACTICAL FUNDAMENTAL CAPABILITIES (LITERACY AND COMPETENCY) BY FUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 3 . 雑誌名 INTED2018 Proceedings 6 . 最初と最後の頁 6576-6581 超載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 勝井伸子,青山美智代 2 . 論文標題 文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	. ***	. w
2 . 論文標題 CHARACTERISTICS OF NURSING PRACTICAL FUNDAMENTAL CAPABILITIES (LITERACY AND COMPETENCY) BY FUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 INTED2018 Proceedings 6 . 最初と最後の頁 6576-6581 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス BM井伸子,青山美智代 工業者名 BM井伸子,青山美智代 2 . 論文標題 文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁		
CHARACTERISTICS OF NURSING PRACTICAL FUNDAMENTAL CAPABILITIES (LITERACY AND COMPETENCY) BY FUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 2018年 3 . 雑誌名 INTED2018 Proceedings 6 . 最初と最後の頁 6576-6581 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 14 1 . 著者名 勝井伸子 , 青山美智代 4 . 巻 14 2 . 論文標題 文化を越えた環境におけるアサーティブネス: 文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	Teiko Nishizono	-
CHARACTERISTICS OF NURSING PRACTICAL FUNDAMENTAL CAPABILITIES (LITERACY AND COMPETENCY) BY FUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 2018年 3 . 雑誌名 INTED2018 Proceedings 6 . 最初と最後の頁 6576-6581 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 14 1 . 著者名 勝井伸子 , 青山美智代 4 . 巻 14 2 . 論文標題 文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	2 論文標題	5 発行年
FUNDAMENTAL EDUCATION AND ACQUIRED QUALIFICATION OF NURSES 3 . 雑誌名 INTED2018 Proceedings 6 . 最初と最後の頁 6576-6581 掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1 . 著者名 勝井伸子,青山美智代 4 . 巻 14 2 . 論文標題 文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁		
3 . 雑誌名 INTED2018 Proceedings 6 . 最初と最後の頁 6576-6581 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - 1 . 著者名 勝井伸子,青山美智代 4 . 巻 14 2 . 論文標題 文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁		2010-
INTED2018 Proceedings 6576-6581		6、最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
# は	THIEDER TO THOUSENINGS	3070 0001
なし無オープンアクセス国際共著1 . 著者名 勝井伸子 , 青山美智代4 . 巻 142 . 論文標題 文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師5 . 発行年 2018年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁	担動会立のDOL / ごごね!! オゴごェカト竝叫フヽ	本芸の方無
オープンアクセス国際共著1 . 著者名 勝井伸子,青山美智代4 . 巻 142 . 論文標題 文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師5 . 発行年 2018年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)-1 . 著者名 勝井伸子 , 青山美智代4 . 巻 142 . 論文標題 文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師5 . 発行年 2018年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁	よし	無
1 . 著者名 勝井伸子 , 青山美智代 2 . 論文標題 文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 3 . 雑誌名 4 . 巻 14 5 . 発行年 2018年	オープンアクセス	国際共著
勝井伸子,青山美智代 14 2 . 論文標題 文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
勝井伸子,青山美智代 14 2 . 論文標題 文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 5 . 発行年 2018年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	1 英名	1 2
2 . 論文標題 文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁		_
文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 2018年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁	烱升冲丁, 育山美省代	14
文化を越えた環境におけるアサーティブネス:文化的自己観とアメリカとアジアの看護師 2018年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁	2.論文標題	5,発行年
3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁		
	へ, しとだった人が元にの, アップ・アープ・アンス・人 [Du] 自己既 ピアグソガビアブノ が自境呼	2010—
	3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
奈良県立医科大学看護学科紀要 93-100		
担動会立のDOL/ごごねませずごったも独印フン 「本語の大畑	担動会立のDOL / ごごクリナゴご - カト強叫フト	本性の左無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
なし 有	なし	有
オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である) -		_

1.著者名 青山美智代,西薗貞子	4 . 巻
2.論文標題	5 . 発行年
看護アセスメント教育におけるInquiry Based Learningの学習効果	2018年
3. 雑誌名	6 . 最初と最後の頁
奈良県立医科大学看護学科紀要	67-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

1.著者名	4 . 巻
西薗貞子,青山美智代	14
2.論文標題	5.発行年
IBL(Inquiry Based Learning)が高める思考・論証能力の多面的評価	2018年
IDE (Inquiry Based Estimity) is a second matter to be part of the second secon	2010-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
11.11.11	
奈良県立医科大学看護学科紀要	75-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
3 77 7 27 23 27 3 (8/2) (8/2) (8/3)	

〔学会発表〕 計3件(うち招待講演 0件/うち国際学会 0件)

1.発表者名

西薗貞子,箕浦洋子,赤澤千春,日隈ふみ子,江川隆子,青山美智代

2 . 発表標題

中堅看護師 (ラダー)のPROG(社会人基礎力測定尺度)評価から 継続教育の課題を考える

3 . 学会等名

第22回日本看護管理学会学術集会

4.発表年

2018年

1.発表者名

西薗貞子,江川隆子,箕浦洋子,赤澤千春,日隈ふみ子,青山美智代

2 . 発表標題

大学における基盤教育と卒後継続教育の連携促進を目指した能力評価の共有~汎用性の高い「社会人基礎力評価」調査結果からの意見交換

3 . 学会等名

第28回日本看護学教育学会学術集会

4 . 発表年

2018年

1.発表者名
Teiko Nishizono
0 7% T-14E PE
2. 発表標題
Competency characteristics acquired by mid-level nurses
3.学会等名
IAFOR2019 Tokyo
4.発表年
2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6.研究組織

_ 0	. 饼光組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	西薗 貞子	奈良学園大学・保健医療学部・教授	
研究分批者			
	(50458014)	(34604)	
	勝井 伸子	奈良県立医科大学・医学部・非常勤講師	
研究分批者	(Katsui Nobuko)		
	(90290436)	(24601)	

7 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------